

令和元年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第3回議事録（要旨）

日 時：6月20日（木）午後6：15～8：05

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 14名（中里委員長、小餅副委員長、糸久委員、牛田委員、大関委員、加瀬委員、北山委員、酒徳委員、柴田委員、田村委員、寺尾委員、中島委員、中田委員、武藤委員）

事務局 3名

1 開会

- ・委員の自己紹介。

2 議題

(1) 憲法月間記念行事を振り返って【資料1】

- ・事務局より、アンケート結果について説明。

【副委員長】 憲法月間記念行事に参加した委員で、感想がある方はいるか。

【委 員】 遅れて参加する人の対応を考えた方が良いという意見がある。

【事務局】 会場の構造上の都合もあるが、今後対応方法を検討する。

【副委員長】 聞きやすかったという意見と聞き取りにくかったという意見の両方がある。

【事務局】 座る位置によって差があるのかもしれない。

【委 員】 基本的な方向が同じでも、学者によって一人ひとり考え方が異なる。皆さんも様々な意見をお持ちかと思うが、以前お招きした木村草太先生は、自衛権は基本的人権に含まれるという考え方であり、今回お招きした青井未帆先生は、憲法に自衛隊を明記するのは危険だという考え方である。これは、自衛隊は一つの部署に過ぎないのに、憲法でお墨付きを与えることで統帥権の独立につながるためだとおっしゃっていた。毎年、憲法学者を呼んでいるが、それぞれ意見が異なっていて面白い。

【委 員】 当日は会場にいたが、食い入るように聞いている人が多かった印象である。アンケートを見ると、興味を持って足を運ばれた方に評価をいただけたと思う。

【事務局】 昨年の憲法月間記念行事講演会のテーマであった防空法の話も出た。

【委 員】 防空法は、空襲を受けた場合、その場に留まって消火活動をしなければならないという法律である。学者は独特の意見を持っているので面白い。

【委 員】 焼夷弾はバケツリレーで消していたが、原爆の場合は訓練も役に立たなかった。当時は、縄で編んだ火たたきという道具を作って家の前に立てかけていた。

【委 員】 天井を破って焼夷弾が落ちてきても、火たたきを使えば消えるのだから逃げるなというのが防空法だった。

【副委員長】 講演会を市報で知ったという方が多い。

【事務局】 SNSでの広報も行っているが、やはり市報が最も多い。

(2) 夏季平和事業、平和の日イベントについて【資料2】

・事務局より、事業案について説明。

① 夏季平和事業

【委員】「硫黄島からの手紙」は記録映画なのか。

【事務局】歴史的な正しさという点については、申し訳ないが調べ切れていない。

【委員】「あの日のオルガン」は新作だが、新しい映画だと観客からお金を取らないと上映できないということがあるのではないかな。

【事務局】2月に公開したので、公開から約半年経つが、確認する。

【委員】「あの日のオルガン」はイメージしやすいテーマだと思う。疎開は学校でも習うので、わかりやすいのではないかな。

【委員】「あの日のオルガン」が良いのではないかな。

【委員】「硫黄島の手紙」や「杉原千畝」はレンタルで簡単に観ることができるので、「あの日のオルガン」の方が良いのではないかな。

【副委員長】第一希望は「あの日のオルガン」とする。第二希望について、ご意見がある方はいるか。

【委員】「杉原千畝」は学校の授業で観たが、2種類ある。内容はわかりやすく、面白かった。

【委員】観たことがない映画の方が良いのではないかな。

【副委員長】それでは、第二希望は「硫黄島からの手紙」とする。子ども向けイベントとしては、よみしばいの脚本は何が良いかな。

【委員】「ぞう列車がやってきた」は小学生にもわかりやすいのではないかな。『へいわってすてきだね』は沖縄の小学生が作った詩だと記憶している。よみしばいにするのは難しいのではないかな。

【委員】「ぞう列車がやってきた」は戦後に子どもたちが電車に乗って象を見に行った話。

【委員】「野ばら」は難しい話なのか。

【事務局】小学校の教科書に採用されている話なので、小学生向けと思われる。

【委員】子どもが音読の練習で読んでいたような気がする。

【委員】知っている話だと興味を持ってもらえるのではないかな。

【事務局】どちらも短い話なので、「野ばら」と「ぞう列車がやってきた」の2本立てにすることは、時間の面では可能。

【委員】日時はどうなるか。

【事務局】よみしばいは外部の団体に依頼するので、日程が決まり次第、委員の皆様に連絡する。

【委員】子ども向けイベントも武蔵野プレイスのフォーラムなのか。

【事務局】ギャラリーだと大きな音が出せないなので、フォーラムの方が良いと考える。

【委員】通りすがりの子どもたちに見てもらえないのではないかな。

【事務局】広報には力を尽くす。

【委員】昨年度はアトレ吉祥寺のゆらぎの広場でパネル展をしていたが、今回はやらないのか。

【事務局】昨年は11月にお願いした。今年もお願いしたいと考えている。

【委員】夏にもお願いできないのか。

【事務局】今回は日にちが近いので難しいが、来年以降はアトレ吉祥寺でのパネル展も検討する。

【委員】昨年は映画上映の際に、当時の様子の証言をしていただいたが、今年はやらないのか。映画が長いので、短くてもぜひお話しいただきたい。

【事務局】映画の前に体験談を話していただけるか。

【委員】日程が合えば大丈夫。

【事務局】日程は決まり次第ご連絡する。

② 平和の日イベント

【委員】第一希望が吉永小百合さんになっているが、人気のある方には早めに打診した方が良い。朗読会ではなく、朗読とトークイベントでも良いのではないか。

【事務局】朗読となると、何を読んでいただくのかも考える必要がある。

【委員】吉永小百合さんに朗読を依頼するのであれば、ご本人が持っているお話があるので、そちらでお願いした方が良いのではないか。

【委員】以前にお招きしたことがあるが、東京大空襲・戦災資料センターの早乙女勝元さんにご講演をお願いするのも良いと思う。

【委員】朗読なら、渡辺美佐子さんも良いのではないか。毎年夏に朗読していたと思う。

【副委員長】平和の日イベントについては、講師への依頼を急がなければならない。

【事務局】第一希望は吉永小百合さん、第二希望は渡辺美佐子さん、第三希望は早乙女勝元さんでよろしいか。

【委員】朗読会と講演会の両方を行うのか。

【事務局】どちらかになる。

【委員】早乙女勝元さんが第二希望でも良いのではないか。

【委員】吉永小百合さんが引き受けてくださったら、公会堂になるのか。

【事務局】公会堂より収容人数が大きい施設が空いていればそちらにする。

(3) その他

・委員より、武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会の夏のイベントについて説明。

【委員】例年8月1日号の市報でイベントを紹介してもらっている。今年も可能であればお願いしたい。8月だけでなく、11月のちらしや市報のデザインをもう少しキャッチーになるように工夫してほしい。

・委員より、大石芳野氏の写真展について説明。

・次回の委員会は、7月18日(木)午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

3 閉会